

平成20年 6 月 17 日  
国土交通省中部地方整備局

## お 知 ら せ

1. 件 名 ～ 平成20年岩手・宮城内陸地震に関する  
緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）の派遣について（第2報） ～

2. 概 要

平成20年6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震に対し、中部地方整備局の緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）を6月14日から派遣し、本日6月17日に被災状況調査班（土砂災害危険箇所）第2陣を派遣しました。

3. 資 料 別紙のとおり

4. 配 布 先 中部地方整備局記者クラブ

5. 問合せ先 国土交通省中部地方整備局

企画部 防災対策官 金藤 康昭

防災課長 小倉 親

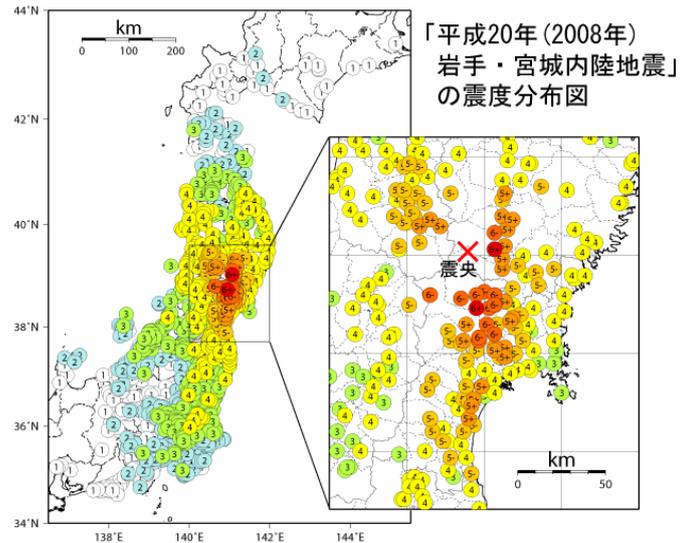
電話番号 052-953-8357（防災課代表）

※Technical Emergency Control Force

## 岩手・宮城内陸地震の対応について（第2報）

### 1. 地震の概要（気象庁発表）

- ①発生日時 : 平成20年6月14日 8時43分
- ②震源地 : 岩手県内陸南部  
(北緯39度01.7分、東経140度52.8分)
- ③震源の深さ : 8km
- ④地震の規模 : マグニチュード 7.2(暫定値)
- ⑤最大震度 : 震度6強  
(岩手県奥州市、宮城県栗原市)
- ⑥余震(震度5弱以上) :  
M5.7 6月14日 9時20分  
震度5弱(宮城県大崎市)



### 2. 中部地方整備局の体制・対応

#### ①本局体制

- 6月14日(土) 8:43 災害対策支援室設置
- 12:40 応援対策本部設置  
(被災状況調査班4班の派遣)



TEC-FORCE (第1陣) 愛知県警ヘリポートを離陸 (6/14 17:22)

#### ②対応状況 (TEC-FORCE)

##### 1) 災害対策用ヘリコプター「まんなか号」

派遣元	任務	活動状況
中部地整	被災状況調査班 (1機、3名搭乗)	(14日) ・17:22 ヘリ(まんなか号)が中部地整を出発 ・19:25 福島空港到着 (15日) ・7:00 福島空港出発 ~ 8:29 仙台空港へ移動 ・10:12 仙台空港出発 被災状況調査班としてヘリにより、栗駒、磐井川周辺調査(東北地整1名、土木研究所3名搭乗) ・16:20 仙台空港到着 (16日) ・16:00 仙台空港出発 ・16:48 被災状況調査班としてヘリにより、国道108号線沿いの見手野原地滑り調査(東北地整3名搭乗) ・18:33 仙台空港到着 (17日) ・9:01 仙台空港出発 ・9:35 被災状況調査班としてヘリにより、矢びつダム及び花山ダム周辺の地滑り調査実施中(東北地整7名搭乗)

2) 被災状況調査班（土砂災害危険箇所）

中部地整調査担当箇所；土砂災害危険箇所 1 1 7 箇所（栗原市栗駒地先）

16 日迄に 81 箇所調査完了し、緊急対応必要箇所 2 箇所

派遣元	任務	班数	派遣者	活動状況
中部地整	被災状況調査班 (土砂災害危険箇所)	4班	中部地整12名(第1陣) ・本局河川部2名 ・多治見砂防国道事務所1名 ・越美山系砂防事務所2名 ・新丸山ダム工事事務所1名 ・富士砂防事務所3名 ・天竜川上流河川事務所2名 ・三峰川総合開発工事事務所1名	(14日) ・17時22分出発(ヘリにて3名) ・連絡車にて9名出発 (15日～17日) ・岩手河川国道事務所一関出張所を拠点として土砂災害危険箇所の調査中。 ・夕刻より一関出張所にて第2陣と引継実施予定
中部地整	被災状況調査班 (土砂災害危険箇所)	4班	中部地整12名(第2陣) ・本局河川部2名 ・木曾川上流河川事務所1名 ・静岡河川事務所3名 ・沼津河川国道事務所2名 ・庄内川河川事務所1名 ・設楽ダム工事事務所2名 ・豊橋河川事務所1名	(17日) ・早朝より連絡車にて出発 ・夕刻より一関出張所にて第1陣と引継実施予定

主な被災状況調査状況



土砂災害危険箇所調査状況 (6/16)



計測作業状況 (6/16)



住民への聞き取り調査状況 (6/16)



溪流上流崩壊箇所調査状況 (6/16)



応急危険度判定士との情報交換状況（6/16）



現地本部でのとりまとめ状況（6/16）



急傾斜の小崩落調査状況（6/17）

### ③今後の予定（TEC-FORCE）

- ・ 18日より被災状況調査班（第2陣）が現地被災状況調査開始予定
- ・ 災害対策用ヘリコプター「まんなか号」による調査（調査箇所未定）
- ・ 被災状況調査班（第1陣）が18日帰還予定